
平成28年度

熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

博物館ネットワークセンターは、平成 27 年 4 月の設置以来、県内の博物館や資料館の連携を軸とした博物館活動の活性化を目指し、「熊本県総合博物館ネットワーク行動計画」に沿って、「県内博物館等による共同企画展」の開催、県内博物館等で共有可能な「資料データベース」の構築・運用等、様々な取組みを進めております。

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震により、当センターも建物が損傷するなど被害を受け、平成 29 年 3 月末まで休館を余儀なくされましたが、この間は、自然観察会等、館外で実施可能な事業を中心に活動を続けて参りました。

なお、損傷した建物は修復を終え、平成 29 年 4 月より通常通りの業務を行っております。

また、県教育委員会や県博物館連絡協議会等と一体となって、被災した県内文化財の救援を行う文化財レスキュー事業にも、昨年度に引き続き取り組んでおります。

これからも引き続き県内の博物館等と共に文化財の継承・保全や活動活性化を進めて参りたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月 30 日

熊本県博物館ネットワークセンター

所長 松井 浩

目 次

1	展示活動	
(1)	天草地域博物館等共同企画展「未来につなぐ宝物」	1
(2)	企画展示	4
(3)	移動展示	5
(4)	博物館ネットワークセンター通路展示	7
2	情報発信活動	
(1)	熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト	8
(2)	出版物	8
3	研修活動	
(1)	総合プロデューサー育成研修	9
(2)	スキルアップ研修	9
4	学習支援活動	
(1)	フィールドミュージアムへ飛びだそう！	10
(2)	熊本を知る講座	11
(3)	キッズミュージアム	12
(4)	移動体験教室・講師派遣	13
(5)	団体利用	13
(6)	博物館実習・職場体験	14
(7)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナー制度	15
(8)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ	15
(9)	学校移動展示用パッケージ作成	17
5	資料収集整理	
(1)	熊本県博物館資料データベース事業	18
(2)	熊本県学芸員等人材データベース事業	18
(3)	資料収集・整理状況	19
6	熊本地震への対応	
(1)	博物館ネットワークセンターの被害	24
7	未指定文化財レスキュー事業	
(1)	熊本地震被災文化財事業の概要	26
(2)	実施状況	27
8	その他	
(1)	平成28年度職員一覧	30
(2)	熊本県博物館ネットワークセンター条例	31
(3)	施設平面図	35

注) 太文字の事業は、県内博物館等との連携強化に向けて相互に協力して実施した事業

1 展示活動

(1) 天草地域博物館等共同企画展「未来につなぐ宝物」

会 場 天草市民センター
開催期間 平成29年 1月21日～2月19日
主 催 熊本県、天草市、上天草市、苓北町
後 援 長崎県、熊本県教育委員会、天草市教育委員会、上天草市教育委員会、苓北町教育委員会、熊本県博物館連絡協議会、天草ジオパーク推進協議会
協 力 天草パールセンター株式会社、上田陶石合資会社、社会福祉法人慈永会、瀨名志松五足の靴文学資料館
観覧者数 2,085人
展示点数 89点
担 当 田中孝行



(展示趣旨)

天草地域には、「天草の崎津集落」をはじめとするキリシタン関連遺産、「海にうかぶ博物館」としての天草ジオパーク等、魅力あふれる天草の自然や文化を展示、情報発信している博物館・資料館等が多く所在している。

この天草地域の博物館・資料館等と県内全域における博物館活動の活性化を目指す「熊本県総合博物館ネットワーク構想」を推進する熊本県博物館ネットワークセンターが、相互に連携して共同企画展を開催することにより、各館との連携を強化するとともに、天草地域の博物館・資料館等の魅力、天草の自然や文化の特色を県民に向け発信する。

また、熊本県や天草市が進める世界遺産推進事業との連携により「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を側面的に支援する。



(参加館)

天草市天草文化交流館、天草市崎津資料館みなと屋、天草市立天草キリシタン館、天草市立天草コレジヨ館、天草市立天草ロザリオ館、天草市立五和歴史民俗資料館、天草市立御所浦白亜紀資料館、天草市立本渡歴史民俗資料館、上田資料館、うしぶか海彩館、濱名志松五足の靴文学資料館、天草四郎メモリアルホール、天草パール・マリア館、熊本県天草ビジターセンター、熊本県富岡ビジターセンター、ふれあいスペース如水館、苓北町歴史資料館、熊本県博物館ネットワークセンター

(展示構成と主な展示資料)

1 自然エリア

天草の自然の特色を示す動物、植物、岩石、化石等を展示するとともに、「天草ジオパーク」についてパネルで紹介。

<主な展示資料>

アロサウルス・フラギリス（復元模型）、プロバクトロサウルス・ゴビエンシス（複製骨格）、カツオドリ（剥製）、ハクセンシオマネキ（液浸標本）、アマクサツチトリモチ（液浸標本）



2 文化エリア

天草の歴史や文化の特色を示す古文書、文学作品、工芸品、民具等を展示。

<主な展示資料>

松菊双鶴紋鏡（漆塗木箱付き）、天草嶋鏡、高浜焼色絵烏瓜文大皿、天草五橋開通関連資料、サツマヨシ型漁船模型、林芙美子自筆原稿「天草灘」、司馬遼太郎色紙（濱名志松宛）



3 キリシタン関連遺産エリア

キリシタン関連資料や天草・島原の乱に関するジオラマを展示するとともに、世界遺産の概要や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」についてパネルで紹介。

<主な展示資料>

原城攻防戦（ジオラマ）、高浜村宗門心得違之者於村方調日記、おらしょ（複製）、崎津に残る信心具（複製）、踏絵、マリア観音、十字架



(関連企画)

1 天草ミュージアム・スタンプラリー

- (1) 実施期間 平成28年12月20日～平成29年2月19日
- (2) 実施内容 各施設に設置されたスタンプの押印数に応じ、世界遺産グッズやジオパークグッズ等と引換
- (3) 参加者 173人

2 わくわく体験！ワークショップ

- (1) 実施期日 平成29年1月21日、2月5日
- (2) 実施内容

期日	実施館	実施内容
1月21日	御所浦白亜紀資料館	化石の型取り体験 天草の石図かんを作ろう
	天草ビジターセンター	天草砥石を学ぼう！刃物研ぎ教室 シモンの葉でオリジナルお茶石けんをつくろう
	博物館ネットワークセンター	柿しぶ染めでコースターを作ろう 葉脈標本でしおりを作ろう
2月5日	天草ビジターセンター	天草砥石を学ぼう！刃物研ぎ教室 シモンの葉でオリジナルお茶石けんを作ろう
	博物館ネットワークセンター	墨で模様をコピーしてみよう 貝がらで動物を作ろう

- (3) 参加者 1月21日 48人、2月5日 47人



3 「天草の崎津集落」関連ネイルアート体験

- (1) 実施期日 平成29年1月28日、2月11日
- (2) 実施内容 「崎津集落」をモチーフにしたネイルアート体験
- (3) 参加者 1月28日 18人、2月11日 26人



(2) 企画展示

① 絵葉書ものがたり

開催期間 平成28年3月19日～平成28年6月19日（平成28年熊本地震の影響により4月15日から中止）
協力 熊本県文化企画・世界遺産推進課
観覧者数 378人（～4月14日）
展示点数 226点
担当 田中孝行、松本晃世、堤将太

(展示趣旨)

明治後期に発行が始まった絵葉書は、明治37・38年（1904・1905）の日露戦争期に爆発的に流行し、イベント・行事の記念絵葉書、ニュースを伝えた絵葉書、風景を写した絵葉書など、さまざまなものが発行された。

絵葉書は書簡としての役割とともに、カメラが一般に普及する以前には、人々にとって視覚的な画像情報を得る、または伝えることができる貴重な媒体としての役割を担った。絵葉書に印刷された図柄や写真からは、当時の社会や文化を読み取ることができ、現在の私たちにとって貴重な歴史資料となる。

本展示では、当センターが所蔵する明治・大正・昭和の絵葉書を展示し、歴史資料としての絵葉書、絵葉書を通じた近代熊本の出来事や風景に注目し紹介。



(展示構成と主な展示資料)

1 絵葉書いろいろ

絵葉書ブームのはじまりから、明治・大正・昭和に発行されたさまざまな絵葉書を、出来事、風景など内容を分けて紹介する。行事などの記念絵葉書、ニュースを題材とした絵葉書、名所・旧跡や人々の生活の風景を写した絵葉書、戦争関係の絵葉書などを展示。

<主な展示資料>

明治三十七八年戦役陸軍凱旋観兵式記念絵葉書、伊豆 大震災の実況絵葉書、日本南極探検隊土産南極圏実景 写真絵葉書（第一集）、岐阜長良川鶴飼、国立公園日 光の景勝、日本風俗絵葉書、少年倶楽部絵はがき

2 絵葉書にみる近代熊本

熊本に関する絵葉書を展示し、絵葉書にみる近代熊本の出来事や風景を紹介する。行事などの記念に作成された絵葉書から出来事を、また名所・旧跡などの風景を写した絵葉書から、明治から昭和の風景を紹介。

<主な展示資料>

明治三十五年陸軍特別大演習記念絵葉書、昭和六年十一月陸軍特別大演習記念絵葉書、新興熊本大博覧会記念絵葉書、陸軍特別大演習記念熊本名勝絵葉書、熊本百景史跡と名勝絵葉書、（熊本百景）三角港全景〔其一〕



3 絵葉書の利用

当時の人々の絵葉書の利用について紹介する。書簡として用いられた絵葉書、コレクションとして収集された絵葉書、記念スタンプの押された絵葉書を展示し、画像情報を伝えるために用いられた絵葉書の役割、絵葉書の収集や交換が身近に行われたことを示した。

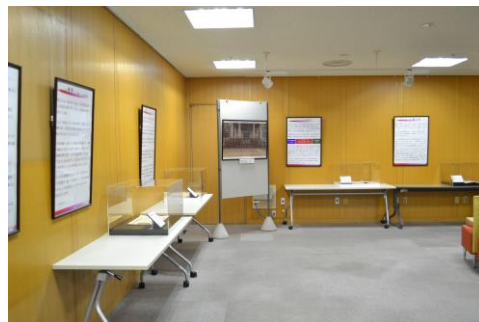
＜主な展示資料＞

書簡（絵葉書「新興熊本大博覧会 正門」）、仏国派遣救護班活動絵葉書、軍事郵便、絵葉書帳

（3）移動展示

①救護看護婦 竹田ハツメ

会場等 くまもと県民交流館パレア アクシア
開催期間 平成28年4月9日～6月26日（パレア休館により一時中断）
観覧者数 1,817人
展示点数 9点
展示概要 過去の企画展示「救護看護婦 竹田ハツメ」を会場にあわせて再構成して展示。当センターの所蔵資料や福岡日日新聞に連載された「渡仏看護婦の手記」等をもとに、竹田ハツメの功績について、パネルを中心に紹介。
担当 田中孝行、松本晃世、堤将太



②くまもとの外来生物

会場 熊本県環境センター
開催期間 平成28年7月2日～9月19日
観覧者数 7,329人
展示点数 38点
展示概要 過去に博物館ネットワークセンターで開催した企画展示「くまもとの外来生物」をもとに、哺乳類や昆虫等の資料を中心に再構成。
担当 天野守哉、中菌洋行



③地質の日

会場等 環境保全活動センター
開催期間 平成28年8月11日
観覧者数 200人
展示点数 小学校理科移動展示用パッケージ 2セット
展示概要 小学校理科移動展示用パッケージを展示。熊本を11の地域に分け石材や、産業として使用された石と学校で履修する石を、それぞれの地域ごとに紹介したもの。
担当 川路芳弘 廣田志乃

④ 生きている地球～地震と火山～

会場等 熊本県立第一高等学校
開催期間 平成28年9月17日

観覧者数 360 人
展示点数 91 点
展示概要 様々な火成岩を展示し、岩石の種類と火山の噴火が関連することを伝える展示。
地震被害の写真や、震源の立体地図などを用い、地震発生のメカニズムを知り、防災に
対する意識を高める展示。
担 当 川路芳弘 廣田志乃

⑤ くまもとの外来生物

会 場 長洲町金魚の館
開催期間 平成28年10月29日～11月20日
観覧者数 14,157人
展示点数 71点
展示概要 過去に博物館ネットワークセンターで開催した企画展示「くまもとの外来生物」をもとに、
植物標本、哺乳類や昆虫等の資料を中心に再
構成。
担 当 稲葉一文、天野守哉、前田哲弥、中藺洋行



⑥ 生きている地球～地震と火山～

会 場 等 熊本県立河浦高等学校
開催期間 平成 28 年 11 月 20 日
観覧者数 150 人
展示点数 91 点
展示概要 様々な火成岩を展示し、岩石の種類と火山の噴火が関連することを伝える展示。
地震被害の写真や、震源の立体地図などを用い、地震発生のメカニズムを知り、防災に
対する意識を高める展示。
担 当 川路芳弘 廣田志乃

⑦ 生きている地球～地震と火山～

会 場 等 阿蘇火山博物館
開催期間 平成 29 年 3 月 30 日～平成 31 年 3 月 29 日
観覧者数 人
展示点数 34 点
展示概要 化石、岩石、石材の 3 つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質につい
て伝える展示。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナ
ーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナ
ーでは、熊本の代表的な石材を展示。
担 当 川路芳弘 廣田志乃

（４）博物館ネットワークセンター通路展示

①「熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネット

ワークセンターだより～」第33号 資料紹介

展示期間 平成28年3月15日～4月14日（平成28年熊本地震の影響により4月15日から中止）

展示概要 「熊本の自然と文化」第33号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面拡大パネルによる解説。

担 当 廣田 志乃、迫田 久美子、小原 舞、松本 晃世、前田 哲弥

＜展示資料＞

石神山のザクロ石、湯たんぽ、ナガサキアゲハ、盆（豊福愛国国防婦人会）、ホンゴウソウ



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的 インターネットを通じた資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。

平成27年10月より運用開始。

参加館等 16館、3市町村（平成29年3月31日現在）

URL 熊本県総合博物館ネットワークポータルサイト

<http://kumamoto-museum.net/>



(2) 出版物

広報誌

タイトル 熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～ No.34

発行日 平成28年7月15日

掲載内容 熊本県総合博物館ネットワークポータルサイトで情報発信中

資料紹介 センチコガネ（動物）

資料紹介 ハタケテンツキ（植物）

資料紹介 流れ模様のある岩石（結晶片岩）（地学）

資料紹介 自在鉤（民俗）

資料紹介 新興熊本大博覧会記念絵葉書（歴史）

タイトル 熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～ No.35

発行日 平成28年10月15日

掲載内容 熊本県博物館ネットワークセンターの活動一部再開他案内

資料紹介 イソヤマテンツキ（植物）

資料紹介 オオバタグルミ（地学）

資料紹介 お櫃とお櫃入れ（民俗）

資料紹介 感謝状（八代市竹田家資料）（歴史）

資料紹介 キュウシュウカラヒメドロムシ（動物）

タイトル 熊本の自然と文化 ～熊本県博物館ネットワークセンターだより～ No.36

発行日 平成29年1月25日

掲載内容 天草地域博物館等共同企画展開催

資料紹介 ツヤマグソコガネ（動物）

資料紹介 村々小前共江（歴史）

資料紹介 メアゼテンツキ（植物）

資料紹介 輝岩中の透輝石（地学）

資料紹介 炬燵（民俗）

3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

・目的

熊本県総合博物館ネットワークの構築に向け、高い企画能力を持ち、プロモーション活動や効果的な広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

・研修計画

○第1回研修会「熊本地震から学ぶ 博物館と地域の文化財」

主催 熊本県博物館連絡協議会
熊本県博物館ネットワークセンター

日時 平成28年10月18日（火）10:00～12:00

場所 八千代座交流施設

参加者 34名

講師 九州国立博物館学芸部 特任研究員 本田光子 氏

内容 熊本地震に伴い、博物館等での資料等の破損や、資料散乱等の被害も少なくなかった。博物館等で地震に伴う被害を減少するため普段からの取り組みをどのように行っていくとよいかを学ぶ。

(2) スキルアップ研修

・目的

講座・実習を通し資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び、各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとoshi、県内博物館の運営力向上を図る。

・研修計画

○第1回研修会「古文書整理ワークショップ」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

共催 「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業実行委員会

日時 平成29年3月8日（水）10:00～12:00

場所 博物館ネットワークセンター 多目的広場
管理棟会議室

参加者 24名

講師 九州国立博物館学芸部
アソシエートフェロー 三角菜緒 氏

内容 地域で守り継がれる古文書の取扱いについて学び、各館や各市町村における資料整理活動の日常の活動のスキルアップを目指す。



4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

①土星・火星と夏の星座を観察しよう

開催期日 平成 28 年 8 月 6 日
場 所 熊本県民天文台（熊本市南区城南町）
参加人数 73 名
概 要 夏の大三角形などの観察、星座物語などの天体に関する講話。
講 師 艶島敬昭氏、中嶋尚氏、西嶋好美氏（熊本県民天文台職員）
担 当 川路芳弘、廣田志乃



②月を観察しよう

開催期日 平成 28 年 9 月 17 日
場 所 熊本県民天文台（熊本市南区城南町）
参加人数 29 名
概 要 雨天のため、県民天文台内にてスライドを用いた天文解説。
講 師 艶島敬昭氏、西嶋好美氏、高田祐一氏（熊本県民天文台職員）
担 当 川路芳弘、廣田志乃、國本信夫



③海辺の生き物を観察しよう

開催期日 平成28年10月 1 日
場 所 天草市牛深町枇杷の首
参加人数 6 人
概 要 天草市牛深町枇杷の首の磯に見られる貝類を中心とした観察
講 師 松本達也氏、矢田正海氏
担 当 天野守哉、中藺洋行



④落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 平成28年11月27日
場 所 肥後民家村（玉名郡和水町）
参加人数 15人
概 要 落ち葉を拾って観察し、落ち葉図鑑を作る。
共 催 和水町教育委員会
担 当 稲葉一文、前田哲弥



⑤水辺の冬鳥を観察しよう

開催期日 平成29年1月29日
場 所 宇城市不知火町大野川
参加人数 27人
概 要 宇城市不知火町大野川にやってくる水辺の冬鳥を中心とした観察
担 当 天野守哉、中藺洋行



(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

①古文書入門講座

開催期日 平成28年8月～平成29年2月 毎月第2土曜日
会 場 松島総合センターアロマ
主 催 上天草市教育委員会、博物館ネットワークセンター
受講人数 75人（計7回）
趣 旨 上天草市指定文化財の大庄屋吉田家文書や博物館ネットワークセンターが所蔵する歴史資料（古文書）を教材として活用し、受講者が本県の歴史や文化を再発見できる機会を提供する。
使用資料 「武将感状記」「肥州古城主考」「村々小前共江」ほか
担 当 田中孝行、松本晃世

②貝類学講座

開催期日 平成28年10～3月の第3土曜日
会 場 宇城市インダストリアル記念館
受講人数 66人（計6回）
趣 旨 熊本県内に生息する貝類について見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持ってもらう。
内 容
10月50日 「貝類分類の基礎」
11月19日 「巻貝について」
12月17日 「二枚貝と陸貝について」
1月21日 「貝と人とのつながり」
2月18日 「貝の見分け方、標本の作り方」
3月18日 「貝類学のまとめ」
講 師 松本達也氏
担 当 天野守哉、中藺洋行



(3) キッズミュージアム 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主催 博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ

会場 博物館ネットワークセンター

開催期日 平成 28 年 10 月 30 日

参加者数 55 人

(体験プログラム)

墨で模様をコピーしてみよう、松やにでぶんぶんゼミをつくろう、オリジナルエコバック作り、化石レプリカ作り、貝がらクラフト、草木染めでエコバック作り



貝がらクラフト



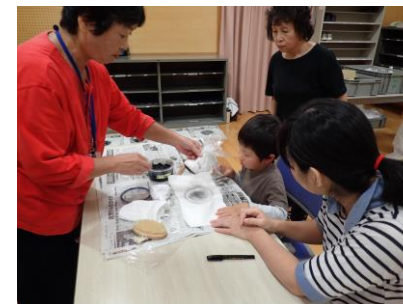
オリジナルエコバック作り 松やにでぶんぶんゼミをつくろう



化石レプリカ作り



草木染めでエコバック作り



墨で模様をコピーしてみよう

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

8月2日 豊福第2学童保育所(石臼黄粉 60人)
8月4日 豊福第1学童保育所(石臼黄粉 50人)
8月4日 松橋第二学童保育所(貝がらクラフト 37人)
10月21日 松橋東支援学校幼稚部(草木染体験 8人)
10月22日 五福小PTA(石臼黄粉 60人)
11月6日 不知火小学校(石臼黄粉 30人)
11月6日 不知火小学校(どんぐりクラフト 18人)
11月14日 田底小学校(葉脈標本でしおりを作ろう 30人)
11月19日 宇土小学校4年生PTA(化石レプリカ作り 83人)
11月26日 白水小学校(草木染体験 32人)
12月4日 三角小学校(葉脈標本でしおりを作ろう 36人)

② 講師派遣

5月20日 山鹿市文化協会総会(民俗 75人)
5月27日 高等学校地学部会総会(地学 46人)
7月8日 熊本大学博物館教育論(民俗 57人)
8月9,10日 日本生物教育会熊本大会(動物 20人)
8月20,21日 アースサイエンスセミナー(地学 80人)
10月6日 夏休み化石セミナー(地学 82人)
10月23日 アースサイエンスセミナー事後指導(地学 8人)
11月1日 パレア講座(民俗 48人)
11月20日 高等学校理科研究会生徒理科研究発表会(地学 120人)
12月27日 天草の古文書基礎講座(歴史 30人)
12月2日 小野部田小学校(社会科授業 13人)
1月17日 松橋小学校(社会科授業 65人)
1月23日 当尾小学校(社会科授業 74人)
1月23日 河江小学校(社会科授業 66人)
1月24日 熊本大学博物館経営論(民俗 58人)
1月27日 天草の古文書基礎講座(歴史 30人)
1月27日 豊野小学校(社会科授業 38人)
1月30日 豊川小学校(社会科授業 42人)
1月30日 益城中央小学校(社会科授業 69人)
1月31日 日吉小学校(社会科授業 83人)
2月17日 天草の古文書基礎講座(歴史 27人)
3月17日 天草の古文書基礎講座(歴史 31人)

(5) 団体利用

8月2日 中学校理科実践研究研修 県教育センター(14人)
8月24日 県立学校理科実践研修(2人)
10月6日 県立学校5年経験者研修・初任者研修(4人)

(6) 博物館実習・職場体験

①博物館実習

期 間 平成29年2月13日～21日

受入学生 熊本大学 2人

実習内容

- | | | |
|--------|----|--------------------------------|
| 13日(月) | 午前 | オリエンテーション、バックヤード見学 |
| | 午後 | ネットワークセンター業務、レスキュー業務説明 |
| 14日(火) | 午前 | 歴史、民俗分野業務説明、展示製作実習説明 |
| | 午後 | 写真撮影実習、展示製作実習1「ふでばこ」展 |
| 15日(水) | 午前 | 展示製作実習1「ふでばこ」展 |
| | 午後 | レスキュー資料整理・クリーニング(分野別) |
| 16日(木) | 午前 | 文化財保存修復学会によるレスキュー資料修理設計見学(氷川庫) |
| | 午後 | 〃 |
| 17日(金) | 午前 | レスキュー資料整理・クリーニング(分野別) |
| | 午後 | 展示製作実習2「昔の道具」 |
| 20日(月) | 午前 | レスキュー資料整理・クリーニング(分野別) |
| | 午後 | 展示製作実習2「昔の道具」 |
| 21日(火) | 午前 | 展示製作実習2「昔の道具」 |
| | 午後 | 展示発表会 |

②社会体験研修

期 間 平成28年8月2日～3日

受入者 県立小川高等学校教諭1人

実習内容 2日(火) オリエンテーション、バックヤード見学(生物分野)、資料採取及び写真撮影
3日(水) 展示実習(列品作業)、内覧会

(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、博物館ネットワークセンターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 平成28年7月3日（土曜日） 参加46人

登録者数 76人

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動内容 5月18日 第1回連絡会
6月12日 第2回連絡会
7月3日 平成28年度総会
10月30日 キッズミュージアム主催

(活動クラブ)

①草木染めの会

活動人数 14人
活動日 毎月第2土曜日
活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践
藍の栽培と藍染め実践
キッズミュージアム「草木染め」運営



②雁回山の植物を観る会

活動人数 16人
活動日 毎月第2木曜日
活動内容 雁回山の植物相調査
雁回山の植物標本の作成
キッズミュージアムの運営



③南阿蘇植物の会

活動人数 10人
活動日 毎月第2火曜日
活動内容 阿蘇野草園やその周辺に自生する野生植物の観察及び標本の作成
標本や写真を使った企画展示の開催
キッズミュージアムの運営

④地学研究会

活動人数 6人
活動日 毎週水・金曜日
活動内容 博物館ネットワークセンターの岩石・鉱物・化石の同定
地震で被災した標本の整理

⑤阿蘇火山調査会

活動人数 14人
活動日 毎月第3木曜日
活動内容 阿蘇火山博物館との協働による外輪山の地質調査
地震で被災した標本の整理
阿蘇火山博物館における移動展示の協力



⑥松橋地域史調査クラブ（震災の影響により平成28年度は活動休止）

⑦阿蘇文化調査研究会

活動人数 12人
活動日 奇数月第4木曜日
活動内容 阿蘇の歴史文化に関する調査研究

⑧くまもとの大地の成り立ち

活動人数 25人
活動日 偶数月第1日曜日
活動内容 熊本県下の地質現象がよくわかる場所での学習会および、サンプル収集。地震で被災した標本の整理



⑨貝類調べ隊

活動人数 14人
活動日 毎月第3土曜日
活動内容 熊本県内に生息する貝類の調査研究

⑩シダを楽しむ会

活動人数 7人
活動日 毎月第1土曜日
活動内容 雁回山に自生するシダ植物の調査研究



⑪交流支援クラブ

活動人数 4人
活動日 毎月第1・3火曜日
活動内容 ミュージアムパートナーズクラブ総会や連絡会の準備
ミュージアムトークや展示解説会等の会員交流イベントの企画運営

(9) 学校移動展示用パッケージ作成

自然に興味関心を持ってもらうため、博物館ネットワークセンターにある実物資料を、学校の教育課程と重ね合わせ学校現場で活用できるよう、現場の教員の意見を聞きながら作成した移動展示用パッケージ。

①高校地学

「化石からわかること」

示準化石と示相化石について理解を深める内容



「鉱物を化学的に見てみよう」

鉱物の化学組成や化学的特徴について理解を深める内容



「マグマと火山」

火山の仕組みについて理解を深める内容

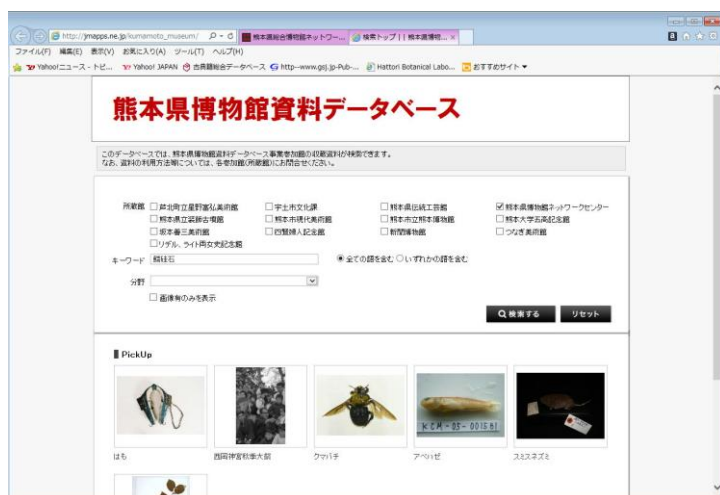


3つのテーマについて各2セット作成。

5 資料收集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

- 事業目的** 熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。
- 事業内容** 収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用
- 参加館等** 16館、3市町村、資料登録件数は338,278件（平成29年3月31日現在）
- U R L** 熊本県総合博物館ネットワークポータルサイト
<http://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

- 事業目的** 熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者、学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。
- 事業内容** 熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付
 熊本県学芸員等人材データベース（web版）の作成及び公開（平成27年10月）
- 登録者数** 133人（平成29年3月31日現在）
- U R L** 熊本県学芸員等人材データベース（web版）公開ページ
<http://kumamoto-museum.net/human>



(3) 資料収集・整理状況 平成29年3月31日現在

① 動物分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数(概数)
立志徹郎氏寄贈貝類標本	57,500
河川水辺の国勢調査成果品	1,000
入江氏寄贈動物標本	900
入江切手コレクション	3,000
宇土高等学校寄贈液浸標本	100
済々黌高校寄贈液浸標本	2,500
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	500
その他	12,400
合計	77,800

平成28年度の受入資料

カモシカ頭骨標本	1点
熊本県鳥獣保護センター資料	40点
久川健氏寄贈昆虫標本	5,178点
久川健氏寄贈昆虫関連書籍	362点
入江照雄氏寄贈クモガタ類標本	59点
その他(職員採取分等)	18点

資料登録点数

分類群	乾燥(剥製等)	液浸	計
NB11(哺乳類)	261	103	364
NB12(鳥類)	989	1	990
NB13(両生・爬虫類)	19	297	316
NB14(魚類)	56	3559	3615
NB15(昆虫類)	5535	406	5941
NB16(多足類)	7	882	889
NB17(甲殻類)	9	904	913
NB18(軟体動物)	12183	342	12525
NB19(その他分類群)	9	28	37
合計	19068	6522	25590

平成28年度的主要な整理登録作業

冷凍鳥獣受入、剥製・樹脂封入標本作製及び登録
 久川健氏寄贈昆虫標本整理及び登録
 入江照雄氏寄贈クモガタ類標本登録
 熊本県立宇土高等学校寄贈貝類標本
 熊本県立第一高等学校寄贈貝類標本整理及び登録
 熊本県立済々黌高等学校寄贈陸産標本分類整理

② 植物分野

資料収蔵点数 約 260,000 点

登録点数（平成 28 年度登録点数）

分類群	全登録点数	平成28年度登録点数
NB2（植物）	192,216	7,616
NB3（菌類）	2,395	0
NB4（藻類）	778	0
合計	195,389	7,616

平成 28 年度受入資料

ミュージアムパートナーズクラブ雁回山の植物を観る会 63 点、東海大学 1,500 点

平成 28 年度の主な整理登録作業

ミュージアムパートナーズクラブ「雁回山の植物を観る会」および県立第一高校標本、東海大学の登録・配架作業

③ 地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）
今西茂標本	1,500
長谷義隆標本	10,000
アトラス熊本標本	174
荒尾宏岩石標本	200
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,700
河野通幸化石標本	217
岩崎泰穎標本	6,500
津末昭生標本	4,300
熊本大学工学部標本	10,000
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,300
村田正文標本	1,100
遠藤誠道植物化石標本	600
斉藤林次標本	200
早田幸作標本	200
千藤忠昌標本	1,300
植田和男標本	100
フェイス女学院松本唯一標本	270
桂輝雄標本	100
その他（少数寄贈、職員製作など）	200
合計	46,961

平成 28 年度受入資料

第二高等学校地学部標本 約 200 点、桂輝雄寄贈標本 約 50 点、ミュージアムパートナーズクラブ阿蘇火山調査会採取標本 10 点 ミュージアムパートナーズクラブくまもとの大地の成り立ち採取標本 10 点、個人寄贈・職員採取標本 20 点

登録点数

大分類	小分類	登録点数（概数）
岩石	堆積岩	4,161
	火成岩	4,640
	変成岩	1,387
	その他	1,551
鉱物・鉱石	元素鉱物	325
	硫化鉱物	956
	ハロゲン化鉱物	116
	酸化・水酸化鉱物	1,138
	炭酸塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	513
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	331
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	191
	珪酸塩鉱物	1,513
	その他	296
植物化石	被子植物	474
	裸子植物	97
	シダ植物	45
	その他	141
動物化石	脊椎動物	97
	原索動物	4
	棘皮動物	99
	節足動物	55
	軟体動物	2,691
	腕足動物	103
	刺胞動物	97
動物化石	その他	70
微化石	動物	87
	植物	4
現生	動物	1,410
	植物	3
その他	その他	3
	合計	22,598

平成 28 年度の主な整理登録作業

熊本大学理学部卒業論文・修士論文標本の整理・登録

岩崎泰頼標本の整理済分の登録

今西茂標本の整理済分の登録

長谷義隆標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	1,822

鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	140	0
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	913	0
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,204	2,204
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証書類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
合志市齋藤家資料	922	0
熊本私立測量学校関係資料	124	0

その他（購入等）	11	11
合計	40,595	8,681

平成28年度の主な整理登録作業

熊本市辛島家資料、八代市竹田家資料、松本達也寄贈資料の整理・登録
合志市齋藤家資料のマイクロフィルム化及びデジタル化

⑤ 民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数	登録点数
衣食住	衣	590	222
	食	893	579
	住	383	236
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	126
	採鉱・冶金	11	11
	漁撈・製塩	141	139
	狩猟	10	10
	養蚕・牧畜	186	186
	繊維	82	82
	諸職・手工芸	390	385
社会	社会	41	19
交通交易	交通	195	147
	交易	110	73
信仰	神社	9	9
	寺院	47	47
	民間信仰	30	25
民俗知識	教育	112	35
	医療	40	21
	暦	8	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	411	55
儀礼	年中行事	56	49
	人生儀礼	40	37
小計		4,630	3,196
写真資料		154,400	34,804
合計		159,030	38,000

平成 27 年度受入資料

生活用品 18 点

平成 27 年度の主な整理登録作業

民具資料 6 点、写真資料 11,738 点

6 熊本地震での被害

(1) 博物館ネットワークセンターの被害

①被害状況

- ア 施設** 庁舎内；各室内及び廊下、ロビーの床、壁に多数のひび割れ、防煙ガラスの破損落下
庁舎外；庁舎横の擁壁ブロックの落下、室外機の位置ずれ及び横転、花壇部分の地面陥没、屋上防熱タイルのずれ



イ 収蔵資料

- 動物** 本館 2 階 剥製 7 破損
大型倉庫 剥製 10 破損
収蔵庫 棚 2 台破損、剥製 119 点破損、昆虫標本 58 点破損
- 植物** さく葉標本：4,064 点落下、内 1,065 点一部破損
液浸標本：27 点破損、内 12 点逸失
- 地学** 本館 1 階 地学資料室 2 標本 50 点落下、内 8 点破損、2 点逸失
本館 1 階 地学資料室 3 標本点 72 落下、内 11 点破損、3 点逸失
本館 1 階 地学資料室 6 標本 189 点落下、内 1 点逸失
本館 1 階 地学資料室 7 標本 2792 点落下、内 29 点破損、29 点逸失
合計 標本：3092 点落下、内 48 点破損、35 点逸失
- 歴史** 本館 2 階 資料 3（額 1、掛軸 1、掛札 1）破損
- 民俗** 収納棚から落下したものや壁に立てかけられていて転倒した資料は約 180 点。そのうち破損したものは 25 点（うち、軽微な修復で修理できるのが 16 点）。



歴史資料室



民俗資料室



動物資料室



植物資料室



地学資料室

②復旧工事関係

熊本地震により被災した庁舎内及び周辺施設の復旧工事 H28.11.28～H29.3.24

熊本地震後の集中豪雨により崩壊した多目的広場北側法面の復旧工事 H29.3.13～H29.6.16

(2) 実施状況（平成 29 年 3 月末時点）

実施件数 28 件 救援文化財等件数約 6,300 件

【内訳】

	区 分	内 容	実 施 者
1	熊本市(個人)	屏風(25点)、古文書(10点)、掛軸(9点)、額装(7点)、その他(3点)	【先行】熊本博物館、博物館ネットワークセンター、県立美術館、熊本被災史料ネットワーク
2	宇城市(個人)	民具等(301点)	【先行】博物館ネットワークセンター
3	宇城市(個人)	古文書(段ボール15箱分)	【先行】博物館ネットワークセンター
4	宇城市(個人)	古文書(段ボール3箱分)	【先行】博物館ネットワークセンター
5	熊本市(個人)	民具等(16点)	【先行】博物館ネットワークセンター
6	熊本市(個人)	昆虫標本(3,752点)	【先行】博物館ネットワークセンター
7	熊本市(個人)	魚類等標本(400本程度)	【先行】博物館ネットワークセンター
8	益城町博物館等	民具(約40点)、掛軸(20点)	【先行】博物館ネットワークセンター
9	御船町(個人)	絵画(67点)	【先行】県立美術館
10	熊本市小学校	デッサン(2点)	【先行】県立美術館
11	西原村(個人)	古文書(19箱)	【先行】熊本被災史料ネットワーク
12	熊本市(個人)	古文書(3箱分)、冊子(2冊)、掛軸(2幅)	【先行】熊本被災史料ネットワーク
13	熊本市(個人)	古文書(40箱)	【先行】熊本被災史料ネットワーク
14	甲佐町(個人)	古文書(10箱)	【先行】熊本被災史料ネットワーク
15	熊本市寺社	古文書・書籍等(段ボール箱56箱分)、漆器等(約50件)	本部レスキュー(レスキュー発動後)
16	熊本市神社	絵巻・書籍等(約500件)	本部レスキュー
17	宇城市(個人)	古文書(3箱分)	本部レスキュー
18	熊本市寺社	古文書・過去帳等(50件)	本部レスキュー
19	熊本市(個人)	屏風、漆器等(約400件)	本部レスキュー
20	宇城市寺社	古文書等(6箱分)	本部レスキュー
21	氷川町(個人)	古文書、屏風、額、襖等(48点)	本部レスキュー
22	熊本市(個人)	屏風、掛軸(9点)	本部レスキュー
23	益城町(個人)	古文書等(5箱分)	本部レスキュー
24	宇城市(個人)	民具類(63点)	本部レスキュー
25	熊本市(神社)	神像(19体)	本部レスキュー
26	益城町(個人)	屏風、茶道具、武具等(137件)	本部レスキュー
27	熊本市(個人)	古文書、武具、掛け軸等(100件)	本部レスキュー
28	熊本市(個人)	掛け軸(32点)	本部レスキュー

※先行レスキューは救援事業開始前と実施されたレスキュー

8 資料

(1) 平成 28 年度職員一覧

所長	松尾伸吾	
主幹	國本信夫	(民俗)
参事	中原秀隆	
参事	天野守哉	(動物)
参事	川路芳弘	(地質)
参事	稲葉一文	(植物)
参事	田中孝行	(歴史)
博物館活動囑託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田志乃	(地質)
博物館活動囑託	松本晃世	(歴史)
博物館活動囑託	中藺洋行	(動物)
資料整理囑託	安田晶子	(植物)
資料整理囑託	堤将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
- (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第 9 条 知事は、第 7 条第 1 項の許可を受けた者（次条第 1 項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第 7 条第 1 項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第 7 条第 2 項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第 3 号に該当することとなったとき。

（使用料）

第 10 条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第 11 条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。

（指定管理者による管理）

第 12 条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第 15 条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定により法人その他の団体であって知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第 5 条及び第 6 条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第 7 条から 9 条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第 7 条第 1 項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第 7 条第 1 項（第 3 項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第 13 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第 3 条第 5 号に掲げる業務
- (2) 第 7 条第 1 項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務
(利用料金)

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。

3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及び別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

別表(第10条、第14条関係)

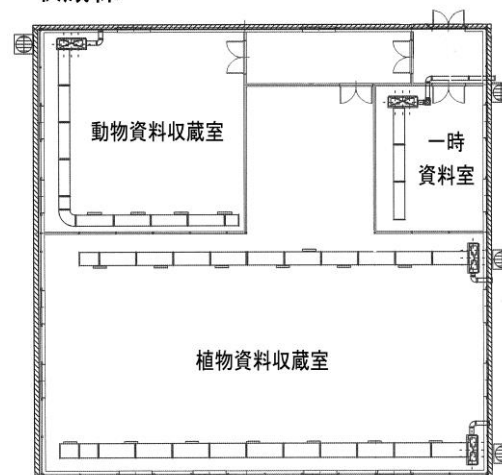
区分	単位	金額
多目的広場	東面 1時間につき	700円
	西面 1時間につき	800円
多目的広場管理棟会議室 1時間につき		100円

備考 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とみなす。

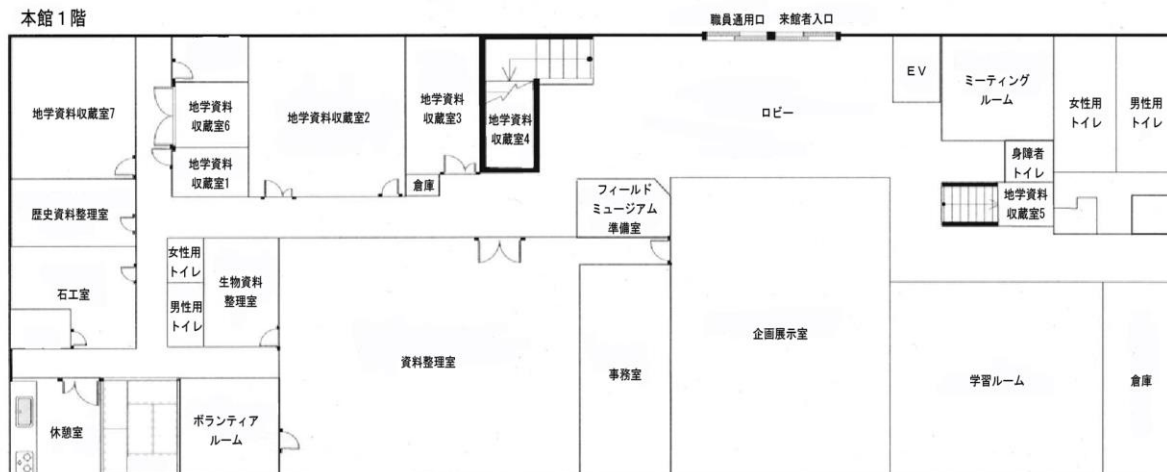
(3) 施設平面図

敷地概要	所 在	宇城市松橋町豊福 1695
	面 積	61,917.40 m ²
建物概要	本 館	構 造 RC 造 2 階建
		建築面積 1643.30 m ²
		延床面積 2889.27 m ²
	収蔵棟	構 造 RC 造平屋建
		建築面積 493.63 m ²
		延床面積 480.26 m ²

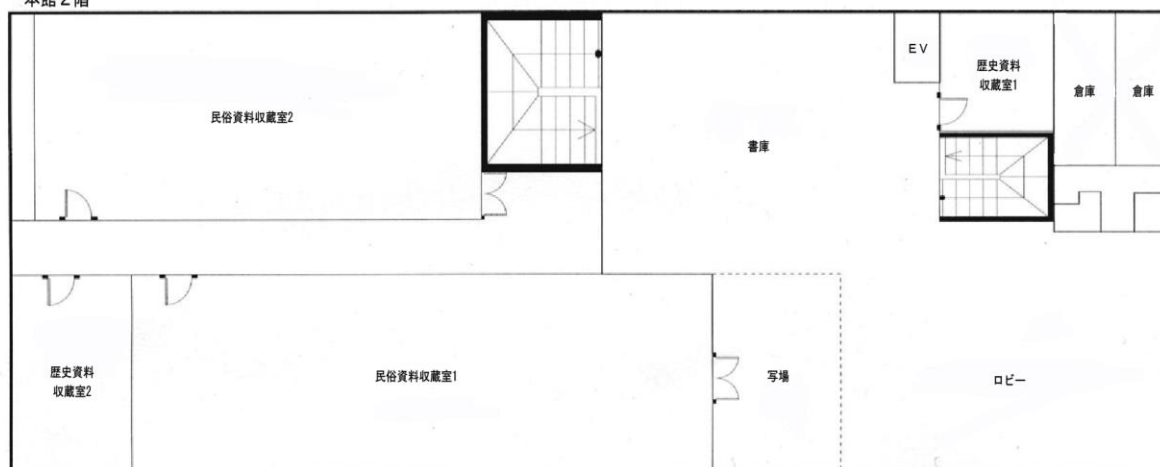
収蔵棟



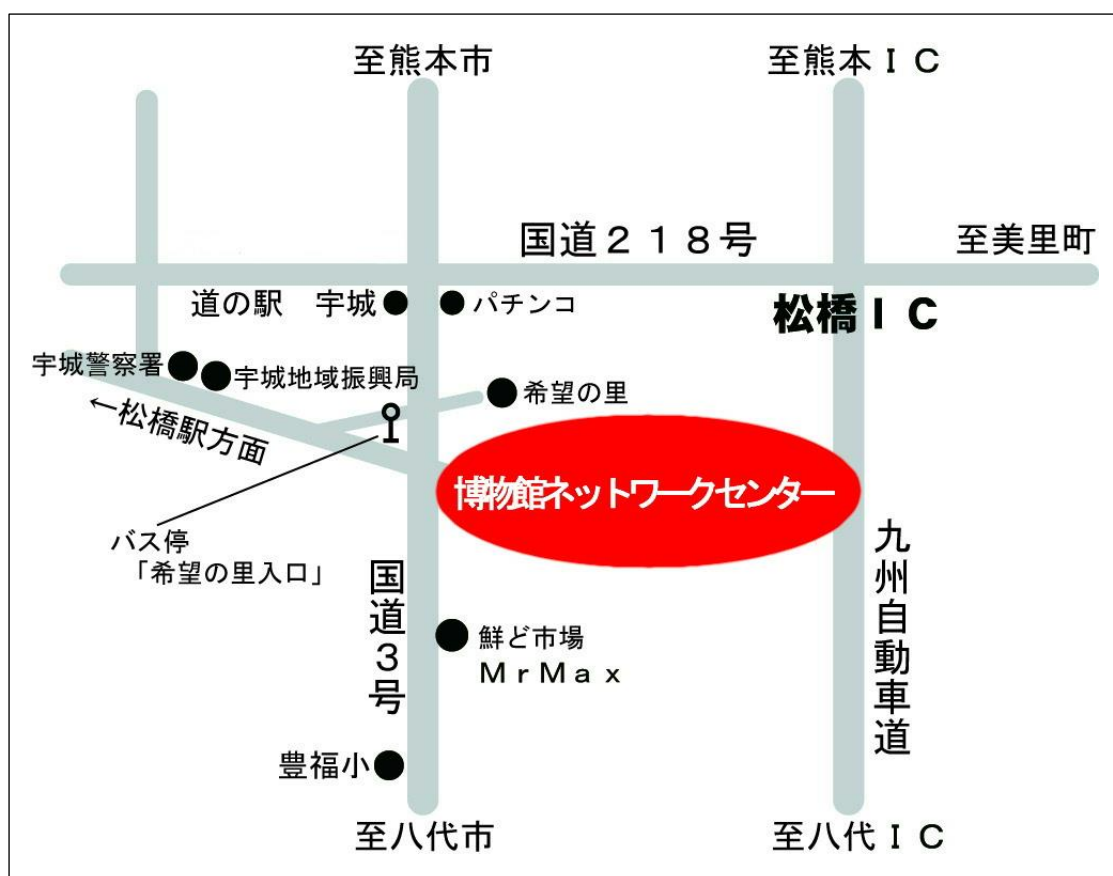
本館 1 階



本館 2 階



【熊本県博物館ネットワークセンターのご案内】



開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分
 JR 松橋駅より約3km
U R L <http://kumamoto-museum.net/kmnc/>
E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

平成28年度 熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター
 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695
 電話（0964）34-3301
発行日 平成29年9月30日
